

# 道徳教育方法研究

第8号

2002

## I. 研究論文

1. <個-共同体>から関係的な自我へ  
—90年代英語圏の論議を手がかりにして—

奥野 佐矢子

2. 多地点接続による道徳授業

上 藺 恒太郎 / 増田 祥子 / 内野 成美 / 山本 和佳 /  
藤木 卓 / 中村 千秋 / 森田 裕介

3. 「補充、深化、統合」を具体化する道徳の時間のあり方

服部 敬一

4. 道徳の時間の目標と方法  
—教育課程審議会答申と新学習指導要領—

森岡 卓也

## II. 実践研究報告

1. 向社会性育成プログラムによる生徒変容効果に関する研究

松岡 敬興

2. よさをひき出す道徳の授業

横尾 俊美

## III. シンポジウム 「心のノート」の可能性と課題

1. シンポジストの発表資料  
(1) 心のノートシンポジウムでの私の論点

菅 京子

- (2) 「心のノート」の可能性と課題

塚田 洋子

(3) 「心のノート」の可能性と課題

田井 康雄

(4) 『心のノート』編集の趣旨・特長・活用の要点

新宮 弘識

2. 司会者のまとめ

白木 みどり / 藤永 芳純

IV. 会務報告

V. 日本道德教育方法学会会則

VI. 『道德教育方法研究』投稿規定

VII. 欧文サマリー

編集後記